



## 水郡線…紅葉狩り…古民家でフレンチ…白柵線バス旅 秋満載ツアー



ニワトコ企画

ま

あ

る

い

旅



埴工業高和太鼓部による歓迎演奏

### 総集編



7日の「昼膳」には佐川正一郎矢祭町長、湯座一平棚倉町長、次回の主開催地・埴町の秦公男教育長、福島県出身の水戸ステーション開発直営事業部長の鈴木弘幸さんらが参加しました。



7日の「昼膳」を前に、矢祭小2年生の鈴木海音さんが「子ども歴史ガイド」として、幕末の郷土史について作文を朗読しました。



古民家「そめや」のご主人・関大容さん（66）は、いわき市在住。江戸期には染物屋を営み、6代目の関さんは警察官OB。今回、昼膳に使われた漆器類は、蔵の中を片付けて見つかったもので、セバスチャンさんも「料理にぴたり」と絶賛していました。



棚倉町の名誉町民で、実は秋篠宮家の眞子さんが結婚した小室圭さんを陰に陽に支えている都内の弁護士奥野善彦さんと令夫人の三千代さん（前列左右）が昼膳に参加しました。

また、日本航空（JAL）の現役客室乗務員の福田薫さん（後列左）が6日に講話をしたほか、同社の客室業務部活躍推進室のふるさと応援サポートグループマネジャーの三田裕子さん（後列右）が参加し、盛り上げました。

一般社団法人ニワトコ（矢崎潤子代表理事）が企画した「まあるい旅」ローカル鉄道・水郡線・白柵線沿線の幕末サムライを旅する」は十一月六、七の二泊三日で東白川郡内を中心に開かれ、二日間とも素晴らしい秋日和に恵まれました。

首都圏からのツアー参加者は、水郡線で矢祭町の東館駅に降り立ち、地酒「南郷」蔵元（矢澤酒造店）で試飲、紅葉真っ盛りの「来る里の杜」を眺め、近くの片野恵仁さん宅で、手打ちそばと旬野菜の天ぷらの昼食。名勝滝川溪谷の散策を楽しんだ後、宿泊先のユール矢祭で珍しい「刀剣展」と試し斬りを見学しました。翌日は、町内編を「一読ください」。

のこんにやく製造工場を見学した後、江戸期の古民家二軒を回り、埴町植田の古民家「そめや」に移動。在日フランス大使館の総料理長セバスチャン・マルタンさんが、地場産農産物をふんだんに使って調理した創作フレンチの昼膳を堪能しました。見送りを受けたら、棚倉駅に向かい、バス専用路線の「白柵線」を通って白河市へ。小峰城址と白河だるまの「だるまランド」も訪れ、新幹線で帰路に就きました。創作フレンチは六日も、地元の人たち向けの「古民家一日レストラン」で提供され、大好評でした。

秋満載の二日間をつづった「総集編」を「一読ください」。